栃木県那須烏山市「烏山の山あげ行事」
ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財

本物の出会い 栃木

山あげ祭

460余年の伝統 日本一の移動式野外歌舞伎舞踊

2024 7.26(金) 27(土) 28(日)

温泉宿泊プラン

温泉宿泊施設と連携し、開催地⇔宿泊施設の送迎付き宿泊プランをご用意しております。詳細は那須烏山市観光協会にお問合せください。

当番町：仲町

開催日程等のご確認はこちらから

山あげ祭特設サイト 検索

天候の状況等によっては、開催内容が変更となる場合があります。

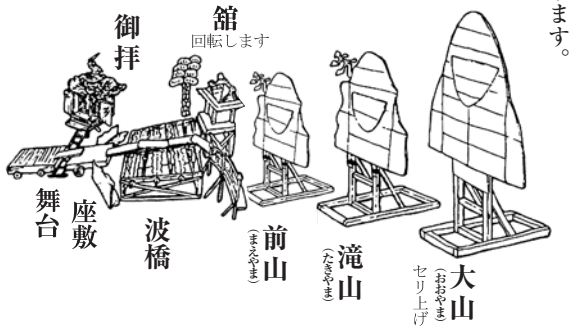
問合せ先：山あげ祭実行委員会（那須烏山市商工観光課） ☎0287-83-1115
（一社）那須烏山市観光協会 ☎0287-84-1977

那須烏山市の山あげ祭は、疫病防除や五穀豊穣・天下泰平を祈念する絢爛豪華な移動式の野外歌舞伎舞踊。今年は当番町「仲町」の若衆が、道路上100mの間に次々と人力で舞台を組み上げ、町の踊り子が三味線と唄に合わせて「将門」「戻り橋」などの演目を昼夜にわたって披露します。演目が終わると素早く解体して、移動、公演を繰り返す一糸乱れぬ団体行動も祭りの見どころです。

山あげ祭のあらまし――

時は永禄3年（1560年）時の烏山城主那須資胤が、当地方の疫病防除、五穀豊穣、天下泰平を祈願し牛頭天王を烏山に勧請しました。その祭礼の奉納余興として、当初は相撲や神楽獅子等が行われていました。やがて、江戸で常磐津所作が流行したのをきっかけに常磐津所作を奉納余興として行うようになり、今日のような全国でも類を見ない絢爛豪華な野外歌舞伎舞踊になりました。この「山あげ祭」は、六町内が輪番で行われ、毎年七月の第四土曜日を含む金曜、土曜、日曜の3日間行われます。山とは、網代状に竹を組んだ木枠に烏山特産の烏山和紙を幾重にも貼りその上に山水を描いた「はりか山」の事です。その「山」を人力であげる事から、「山あげ祭」と呼ばれるようになりました。「山」は常磐津所作（踊り）の舞台背景としてあげられ、観客の前に据えられた舞台から道路上約百メートルの間に百名に及ぶ当番町若衆が一糸乱れぬ団体行動のなか御拝、座敷、波橋、舘、前山、滝山、大山等が瞬く間に遠近よく配置されます。そして、常磐津の三味線と唄にのって、町の踊子が鍛練された美しい踊りを披露する日本一の移動式野外歌舞伎舞踊です。主な演目としては、「将門」「戻り橋」「蛇姫様」「吉野山」「梅川（上）」「老松」「関の扉」等があります。

山あげ基本配置図



「町によって一部名称が異なります」

那須烏山市の観光情報や宿泊施設のご案内

▶WEBで『那須烏山市観光協会』公式サイトを検索
▶スマホで二次元バーコードを読み込むと
ご覧いただけます

山あげ祭まるわかりサイト

▶駐車場混雑状況や屋台の位置情報、
公演場所など祭典期間中の主要な情報を
お届けします

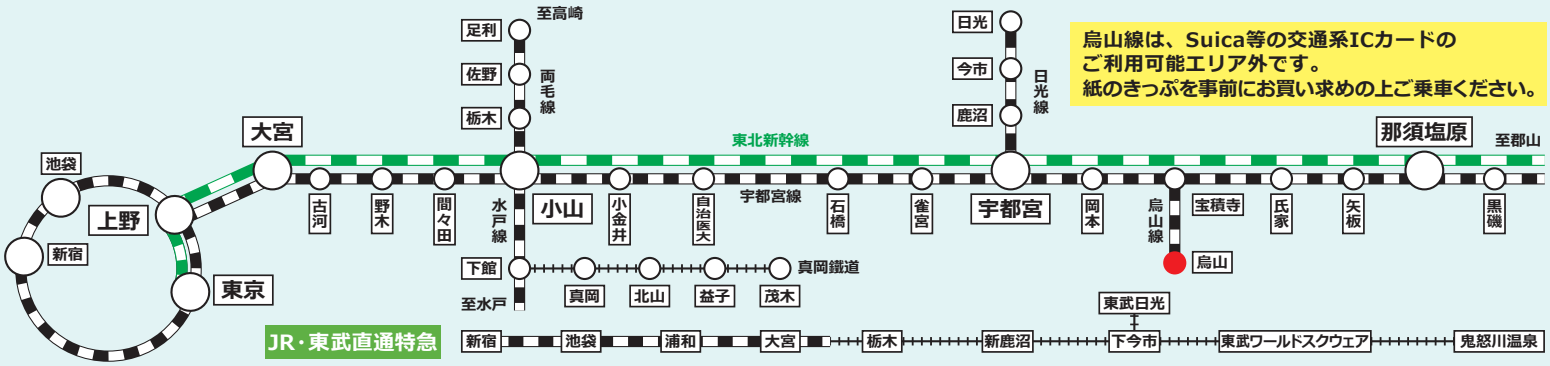
那須烏山市へのアクセス

【お車でお越しの場合】

▶東北方面より　東北自動車道「矢板IC」から約50分
▶東京方面より　北関東自動車道「宇都宮上三川IC」から約50分
▶茨城方面より　常磐自動車道「那珂IC」から約50分

【鉄道をご利用の場合】

▶宇都宮駅からJR烏山線にのりかえ、「烏山駅」で下車
宇都宮～烏山の所要時間約50分、烏山駅から徒歩圏内



栃木県へのご旅行は渋滞なしでラクラク便利なJRで！

※路線図は略図です。
※イラストは全てイメージです。
※SuicaはJR東日本の登録商標です。